



各 位

平成 28 年 6 月 22 日

会 社 名 三菱自動車工業株式会社
代表者名 取締役社長 相川哲郎
コード番号 7211 東証第 1 部
問合せ先 常務執行役員 経営企画本部長
黒井義博
(T e l . 0 3 - 6 8 5 2 - 4 2 0 6)

当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う特別損失の見込みについて

当社は、平成 28 年 6 月 17 日付けの「当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う損失の発生について」でお知らせしておりましたとおり、お客様へのお支払い以外に発生する費用を精査中としておりましたが、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。あわせて、営業利益を含めた影響額を取り纏めましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失

当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う特別損失として、平成 29 年 3 月期決算に日産自動車株式会社（以下、「日産自動車」という）、販売会社及びサプライヤー向けお支払い、水島製作所の一時帰休費用などで約 1,000 億円計上する見込みとなりました。

2. 当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う影響（平成 29 年 3 月期決算）

項目	影響額（億円）	備考
営業利益への影響	△550	国内販売台数及び部用品販売減、愛車無料点検、国内販売対策費用など
特別損失	△1,500	
お客様へのお支払い	△500	6 月 17 日に公表しました「当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う損失の発生について」をご参照ください。
その他	△1,000	日産自動車、販売会社及びサプライヤー向けお支払い、水島製作所の一時帰休費用など
合計	△2,050	

なお、平成 28 年 3 月期決算に燃費試験関連損失（特別損失）として、191 億円を計上しております。

2. 今後の見通し

平成 29 年 3 月期の業績見通しにつきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上